

第2回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
幹事会 （会議録）

会議の名称	第2回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会幹事会
開催日時	令和6年3月21日 午後5時00分から
開催場所	岩村コミュニティセンター 2階 大会議室
議題	・理事会及び各専門部会の審議状況と共有すべき情報の報告 ・提案事項の説明 課題1 新中学校の名称について（総務部会） 課題11 スクールバスの運行に関すること（環境部会） 課題13 部活動に関すること（環境部会）
公開非公開の別	公開
出席者	委員 市川 紫 原田 英明 安藤 常雄 市岡 早苗 教育委員会 岡田 庄二 工藤 博也 鈴木 幸宣 佐々木和美 安藤 善和 丸山 頼彦 青木 茂 市川 太一
会議の内容	会議録のとおり
傍聴者の数	1名

事務局	それでは、皆様、こんにちは。定刻になりましたので、ただいまから第2回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会幹事会を開催したいと思います。 それでは、会を始める前に、本日も要綱等に基づきましてインターネット等で音声配信を行いますので、皆様、ご承知おきのほどをよろしくお願いいたします。それでは、お手元にございます次第に沿って進めていきたいと思います。 まず最初に、教育長よりご挨拶申し上げます。
教育長	皆さん、こんにちは。貴重な時間をいただきまして、第2回の幹事会、よろしくお願いいたします。各部会で議論が進んでいます。各部会の審議状況を聞いていただいて、気が付いたことなどいろいろ教えていただければと思います。 今日はよろしくお願いいたします。
事務局	それでは2の報告事項に入ります。審議状況と共有すべき情報の報告をいた

きます。それぞれの部会長に部会の大まかな状況を報告いただき、細かなことにつきましては事務局より報告をいたします。まずは簡単に報告をいただき、報告が終わった後、質疑を行いますのでよろしくお願いします。では最初に総務部会より状況の報告をお願いします。

総務部会部会長

総務部会では、テーマの冒頭には校名を掲げていましたが、いろんな意見の中で、真っ先に決めていこうということにはならなかったので、制服、体操服、あるいは校歌の話をしながらか校名の話も進めていくというやり方をしております。それで、具体的な制服・体操服・かばん・上履きあるいは校歌については、それぞれグループワークしながら進めてきております。それで、校名については公募でやるということは満場一致で決まりましたが、その公募の開始時期について決まらなかったんで、急遽3月中旬に2回の会議を行って、結果的には4月1日からの公募開始という形になりました。おおむねそういう話でございます。

事務局 はい、ありがとうございました。

補足、事務局。

事務局 制服・体操服につきましては、これまで業者の方にサンプルも持ってきていただきながら、総務部会の委員の皆さんで検討いただいて、方向としては、制服とジャージについては指定のものを今後作成していくということ、そして、制服についてはブレザータイプのもので作成を今後進めていくということまで決定しております。

以上です。

事務局 はい、ありがとうございました。

質問などはまた後でお伺いいたします。

じゃあ続きまして、環境整備・PTA・コミスク部会の報告を、会長さんはちょっと遅れていらっしゃいますので、副部会長さん、お願いいたします。

環境整備・PTA・コミスク部会副部会長

はい、了解です。

環境整備のほうで、最初に部活動のことについて話し合われて、その中で、子供たちの声をまず聞いたかどうかということでアンケートを取って、後で細かい報告があると思いますが、参考にして共有しました。

それから、一番問題になっていたスクールバス。この件で、スクールバスのルートが、バスの大きさの見直しはあったんですが、一応ルートが部会の中では決定しました。また詳細は事務局のほうで説明していただきますので、よろしくお願いします。

事務局 はい。よろしかったでしょうか。

じゃあ事務局のほう、何か追加の報告お願いします。

事務局 一番大きな問題でしたスクールバスのことについても、その意見を皆さんにいただいたもので確認できましたので、この後、またちょっと詳細をご説明させていただきながらご報告させていただきたいと思います。よろしくお願いします。

す。

事務局

はい、ありがとうございました。

それでは教育部会のほうの報告のほうを、会長さんがちょっと今日欠席でございますので、副部会長のほうからよろしく願いいたします。

教育活動・学校事務部会副会長

はい。こちらで言うと、学校の行事についてということで、もう教務のところ全員集まって、どんなふうにできるかという実務的な状態ぐらいまで入りつつあります。

あと、交流活動というところも、小学校1回、中学校2回、特に中学校のほうなんかで言えば、それぞれ日にちが決定してきているということで、交流の内容については、もともと保護者の方、委員会の中でも楽しめる部分をというふうなことで、レクのような形で遊ぶというか、そういう交流ができないかということで、団体でもうレクを専門にというか、やってみえるところをお願いしてはどうかというような割と実務的な話まで入ってきております。今後は事務のほうの、各学校の物、備品などを挙げて、どうしていこうかというようなところまで来年度からいくのかなというふうに思っております。

事務局

はい、ありがとうございました。

では、事務局のほうから補足のほうあれば、お願いいたします。

事務局

事務局のほうです。

11月、2月に1回それぞれ部会をしました。11月では、学級活動等についてご意見をいただきました。特に、学校現場のほうでいろんなこと決めたほうがいいのではないかという意見ありましたので、2月の部会のところでは、学校現場に振ったようなところで、進捗状況、委員のほうからお話が合ったような状況について説明をさせていただきました。それから、来年度以降、どのように進めていくかについての方向性についてご説明を申し上げて終わりにしました。

以上です。

事務局

はい、ありがとうございました。

今、3部会の報告がございました。ご質疑等ございましたら、よろしく願いいたします。よろしかったでしょうか。

それでは、7ページをお願いいたします。今後の予定になりますが、このあたりのほうを少し事務局側のほうから説明していきたいと思っておりますので、よろしく願いします。

事務局

7ページをご覧ください。

今年度、部会において活発なご審議をいただきまして、令和5年度につきましては各部会の予定されていた審議を尽くしたかなというところがございますが、来年度に入りましてからの準備委員会の動きについて、私のほうからお話をさせていただきます。

まず、事務局としまして、5月の中旬から下旬にかけてになるかと思いますが、南地域の保護者の皆さんとの意見交換会の開催を考えています。また、昨年度

と同じ時期になると思いますが、5月下旬には第2回の総会の開催を考えています。それから、理事会でございますが、本日、幹事会で内容をご承認いただきましたら理事会を開催させていただきまして、この後提案がございます議案についてご審議をさせていただきたいと考えております。

続いて、各部会についてお話をさせていただきます。総務部会では、この後、議案として上がってまいります。学校名について引き続き審議がなされます。それから、今、現在進行形で審議させていただいております校歌の制定、それから制服、体操服などについての審議を来年度も引き続き進めていきたいと考えております。

それから、環境整備・PTA・コミスク部会についてですが、今後、PTAの組織運営に関すること、学校運営協議会の組織運営に関することについて審議を深めてまいりたいと考えております。

それから、教育活動・学校事務部会につきましては、これ最後の部会のほうでお話ございましたが、これまでに検討されてないことについて令和6年度に入りましたら、あと残り4項目検討を進めてまいると、このように報告を受けています。よろしくお願いいたします。

事務局 はい、ありがとうございます。

それでは、次の議題3に入ります。今月29日に開催されます第5回統合準備委員会理事会に提案する議題について審議したいと思っております。

最初に、課題1、新中学校の名称についてということで総務部会から提案されますので、事務局より説明のほうお願いいたします。

事務局 失礼いたします。

資料の8ページからでございます。

まず、この新中学校の名称に関しましては、先ほど委員のほうからお話があったとおり、これまでに4回の総務部会の中で協議をしてまいりました。特に、第5回の総務部会のところでは、校名について公募するということを確認いたしまして、事務局のほうで公募の募集要項の原案を作成して、第6回の総務部会で、公募の期間、そして公募の範囲、そして公募の方法について部会の中で決定をいたしました。

その中で、公募の開始日についていろいろなご意見をいただきましたので、再度協議をするということで、先日、3月19日に第7回の総務部会を開催しまして、4月1日から公募を始めるということで部会として決定をいたしました。その公募についてなんですけれども、資料の9ページ、10ページのところにその要項が載っております。具体的には、公募の範囲については、恵那市内在住の方、そして、この恵那の南地区出身の方を対象にしまして公募をいたします。そして、その公募の期間ですが、4月1日からおおむね1か月程度なんですけれども、ここで、新聞の折り込みができる日にちが4月の1日にちょっと間に合わないために、4月の恐らく7日、8日辺りになります。そこから1か月間の公募の期間を確保するために、公募の締めの日については5月10日ということで公募のほうを進めてまいりたいと思います。

公募は、10 ページにあるような応募用紙を各振興事務所、それから恵那市役所に置かせていただくとともに、インターネットのほうから応募をしていただくためのURLやQRコードについても広く広報してまいる計画であります。さらに、そのほか、特に様式はございませんが、この応募用紙と同じ内容を紙に書いていただいて、郵送いただくですとかメールで申し込んでいただくということも想定しております。

こちらの9ページにある募集要項に沿い募集をして、今後についてなんですけれども、これで公募が終わりましたら、その集計をいたしまして、その集計を基に総務部会で学校名の候補を絞り込んでいく作業に入ります。また、ここで絞り込むに当たって必要という皆様のご意見であれば、アンケート等を実施して候補を絞り込んでいくということになり、その後、幹事会・理事会に諮った後、総会でこちらの準備委員会として校名の案を決定していただきます。そして、その後、教育委員会、市の議会のほうを通しまして条例のほうを改正し、正式に校名が決まるという流れで今後進めてまいります。

以上です。

事務局 はい、ありがとうございました。

まず、新恵那南地区統合中学校の校名のことについて理事会に諮るということでご説明を受けました。何かご質問等ございましたら、よろしく願いいたします。このとおりで、理事会に諮っていくという形でよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。

それでは、議題の2つ目、課題11、スクールバスの運行に関するということで、環境部会のほうから理事会のほうに提案させていただきますので、説明のほうよろしく願いいたします。

事務局 では、環境部会担当からご説明させていただきます。

11ページになります。まず、スクールバスの運行に関してになります。

1番としては、経過がございます。4回ほど会議を重ねてきております。11月では、ルートに関しましては、専門業者に入っていて、実際にバスを走らせながら最適なルートを検討するという事前調査を行うという流れです。

この中で、2月15日の第8回で、基本的な運行計画方針と運行ルート、バス停、この案をお示ししまして、委員の皆様方と意見交換をさせていただきました。

その中では、バスの運行の仕方、バス停とか乗降、乗り降りの方法、または車内の環境、通学環境、様々なご意見を頂戴した中で、3月7日、皆様のご意見をまた整理をさせていただいた最終的な運行計画案を示した中で、この部会の案としてまとめさせていただいて、今後は保護者の皆様にご確認いただくと、こういう流れでいくことに部会のほうとしては進めてきております。

では、具体的な計画はどのようになったかをご説明させていただきます。

2の、スクールバス運行に関するまとめとしまして、(1)番です、計画の概要になります。こちらにつきましては、今日の資料の中の15ページになるところが全体のバスルートの全体図、それ以降のページに各ルートごとの概要と、あとはバス停等が書いてある地区ごとの詳細の資料もあります。これを少しご

覧いただきながらになるんですけれども、まず、全体としては16のルートを設定させていただきました。使う車両としましては、中型のバスが3台、マイクロバスが6台、ワゴンが7台、そして、今回このルートの中で最長、一番長い通学の時間は、片道45分かかる上矢作3号車の部分が最長の時間になるもので、そのほかにつきましては、表を見て分かるように、全体でいきますと平均で片道29分ほどで収まっているルートとなっております。

これらのことをどのようにしてまとめてきたのかというところが、次の12ページにございます基本的な運行計画方針というものを確認させていただいております。この中で、6つほどございますが、1つ目は、生徒が乗る通学は、片道6キロ以上の方はスクールバスに乗っていただくということ。2つ目、通学時間は1時間以内となるように設定しますということで、今回設定したのは最長でも45分ということになりました。3番目が、皆さんが乗れるバスの大きさ、台数を確保していこうということで、中型、マイクロ、ワゴンの中から乗車人数によって車両を決定させていただきました。4番目は、効率的な運行ができるようにルートを検討させていただくということ、5番目では、自宅からどれだけの距離でバス停にするのというところでは、600メートルを目安ということにさせていただいております。そして、6番、バス停は既存の路線バスとか自主運行バス、このバス停を兼用して使っていくというのを一応基本的な計画として定めました。

もう一つ、次のページになります、13ページになりますけれども、ここにありますスクールバス運行に関する考え方のまとめです。これ、部会で協議をさせていただいた中で、皆様からのご意見、そして考え方を整理して、このようにスクールバスを運行することになりますよというものをまとめたものになります。

1番のバスの運行では9項目ございますが、例えば1番目、土日や夏休み等の長期の休業中は、運行はどういうふうになるのかなというところでは、休業日の運行は行わず、ただし夏休み等での学校行事日の場合は運行はしていきます。これ、ほかの市内のスクールバスと同様の扱いをさせていただいております。

もう一つ代表的なところで、6番でございます。下校時の運行で、生徒の都合により別のルートのバスに乗るとか、他の地域、振興事務所等で下車ができるのかというところでしたけれども、これは、登校と下校は同じバス、同じルートでの乗車、行き先によってルート、または乗車人数、バスの車両が決まっておりますので、下校のところも同じルート、同じバスに乗っていただくということとさせていただいております。

あと、9番、バスのシミュレーションもしないといけないですよということ、これにつきましては、シミュレーションの機会を設けまして、どのようにして学校に行けるのかというのも体験していただくということは計画していきたいと思っています。

次のページに行きますと、次のバス停、また乗降方法。

例えば1番、これ600メートルのバス停から自宅というふうに原則は決めてお

りますけれども、例えば同じルート上で、私のところは 600 メートルのここだというふうになっておったんですが、いや、もう少し歩けるので、例えば1 キロ離れていても、違うルート上のバス停から乗りたいというご希望がある場合についてはどうだということですが、これ、乗車人数等に変動がないことから、同じルート上であれば、そこは生徒の事情により選択することは可能としましょうというふうにしております。

もう一つ、2 番目で、既存のバス停、または自主運行バスのバス停ではなくて、新しいバス停はつくれないのかというところですが、やはりバスを安全に運行するには、安全に停車して乗車ができるという場所を選定した上でバス停がつくられております。ですので、そのバス停を使うということを原則としていきます。ただし、今回設定した中でも、数か所はどうしても新たにできないと乗降する場所が確保できないという箇所もございましたので、ここは安全確保を前提に新設する箇所も数か所つくらせていただきました。

次に、例えばこの3 番の車内環境です。バスの中でタブレットで学習したいよ、Wi-Fi をつけてほしいとか、あと、バスが今どこを走ってるの、何時に着くのだろうかという、そういう運行管理ができる ICT も設置できないかというところでは、この両方については、それを設置する形でバスの運行をしたいというふうに考えております。

あと、4 番、通学環境です。1 番にあるように、暗い場所で通学路となるところもあるということで、街路灯を新たに設置できないかという考え方です。これについては、地域の方ともご相談させていただきながら検討が必要になってくるので、そこはこれから検討課題として取り組んでいきたいというふうに考えております。

このようにバスルートに関する考え方を整理した上で、最終的に、次のページにありますバスルート全体図にあるような、このような全16 路線で、まずは部会としてはこれを決めさせていただいて、今後、最終的にはまた保護者の皆様にも確認をしていただくという流れに進んでいきたいというふうに決めさせていただきました。

まず、これがスクールバスについてになります。

事務局 バスルートのことについて事務局の側から説明をいただきました。この件については、先ほど申し上げましたように、同じように29 日の理事会に諮り、承認をいただきたいということで、幹事会のほうで皆様のご意見をいただいてから持っていこうと思っていますので、よろしくお願いいたします。ご意見等ございましたら、お願いいたします。

総務部会部会長

全体16 路線ということですが、この図面見ただけでは、具体的にどう走るかちょっと分からないですね。だから、例えば僕らのところはこういうふうになるとかというのを何か。そうやって次回。

事務局 そうですね。ちょっとこれだけで、実は例えば岩村なら岩村だけに特化したもう少し拡大した図面も用意しましたので、それを用意して見てもらったほうが

分かりやすいですね。

総務部会部会長

そうですね。他地域のところはそもそも分からないんで、やっぱりそれぞれの地域のことが具体的に分かれば皆さん。

事務局　そうですね。

環境整備・P T A・コミスク部会副部会長

これ出そう。これのほうがいいよ。

事務局　はい。そうですね、これは全体が。

環境整備・P T A・コミスク部会副部会長

部会で使ったのがあるんですよ。何か協議したのが、それぞれ。

事務局　そうですね。

環境整備・P T A・コミスク部会副部会長

だから、それを資料でつければ見やすいもんで。大変なるけど、資料多くなる。

事務局　そうすると、そのルートの図面と、例えば岩村ですと、この16ページにあるように、全部で5つの車両を動かすことになります。そこでバス停の位置も図上に示しましたので、これでもう少し具体的に分かるようなものをちょっとご用意させていただいたほうが、確かにそうですね。

環境整備・P T A・コミスク部会副部会長

見やすい。次回で。

事務局　貴重なご意見ありがとうございました。

総務部会部会長

こっちからこう来て、こっち側に行って、そういう感じ？

環境整備・P T A・コミスク部会副部会長

そうそう。

事務局　そうです、はい。

環境整備・P T A・コミスク部会副部会長

何かルートごとにやったほうが、地区ごとにやったほうが見やすいね。

事務局　じゃあそれは訂正させていただきますかね。

総務部会部会長

自治会持って行って、全然分かりませんなんて言われてもね。

事務局　はい。そうですね。

事務局　はい。ちょっとご説明させていただきます。実は、15ページにつけていたものをもう一枚ぺらで置いてあります。ちょっと15ページ、間違いがございましたので、ぺらのほうが差し替えとなっております。しかもちょっと、最終的にこれもうっかりで、実は、明智の地区の3、4、5号車のところですけれども、最終的な時間等の数字等はこれで正しかったんですが、乗車人数とか始発のバス停のところの記述がちょっと誤っておりましたけれども、ここはまた当日に向けては直させていただきます。16ページからある各地区のルート図は、これは正しいものですが、これを一覧表にしたものが少し数字的なものを間違えてるところが数か所はございますので、そこはまた改めて直させていただきます。

いと思います。

事務局

そのほかいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

では、訂正したものを今度の理事会のところで出させていただきますので、よろしく願いいたします。

続いて、議題の3、課題13、部活動に関する事ということで、こちら環境部会から提案されますので、説明のほうよろしく願いいたします。

事務局

では、資料21ページになります。こちらにつきましてご説明させていただきます。

こちらにつきましては、11月29日第6回の部会におきまして、まず市内の各中学校がどんな部活動行われてるの？という現状の確認を行わせていただきました。そして、12月に行われました第7回のときに、やっぱり子供たちにアンケートを取っていきましょねということで、1月下旬に小学生4年生以上と全中学生にアンケートを取るということを決めまして、アンケートを取った結果、最終的に3月7日のときに、その結果を踏まえながら意見を出し合いました。そして、4のチョボの2つ目にあるように、部会で部活動の内容を決めるという性格のものではなくて、子供たちの意見を基にして、こんな部活動をこのような考え方の下で新しい中学校で考えていってほしいという提言という形でまとめることにさせていただきまして、提言書を作らせていただいております。

2の、部活動に関するまとめとしまして、(1)で部活動に関する提言、このようにしてまとめさせていただいております。

部活動の設置について、例えば①にあるように、今まで文化系がございませんでした。ですので、文化系の活動を複数設置していただければということをもまず提言しております。そして、③にありますように、アンケートの結果では、小学生・中学生ともにバドミントン、バスケット、あと文化系の家庭、こういうものも人気が高かったという結果が表れております。

そして、次の21ページに移りますと、もう一つ、一番上段にあります、それぞれ地区伝統芸能をやっているということも踏まえながら、こういう活動が部活動の中でも生かされないか、これもちょっと考えてほしいよねという提案です。

そして、⑥番、統合中学校の開校後も、様子を見ながら設置をする部活動を決めていってほしい。というのは、開校時にこんだけの部活動にしちゃいましたというふうに決めつけるのではなく、数年はちょっと様子を見ながら、こういう部活動もできるとかというところもちょっと子供たちと一緒に考えてほしいというものです。

そして、活動日についてのご提案は、①のように、週一、二回程度の活動日は確保してほしい。そして、②にあるように、時間は授業の1時間程度は何とか確保してほしいということ。

そして、その他として、例えば①にあるように、今まで5つの中学校で取り組んできた部活動は、継続して部活動をつくっていけるようにしていただきたいと、このようなところを提言としてまとめさせていただいております。

その下と次のページにあるのが、アンケートを取った結果をちょっと集計したものを表にさせていただいております。23 ページにある表が、これ、市内の全中学校の現在の活動がある部活動は丸印でしてあるところになっております。例えば生徒数の多い恵那西、恵那東ですと、部活動の数が 10 から 12 個とありますが、例えば串原ですと卓球、上矢作ですとバレーと卓球しかない、こういう状態であったものが、相当数の人数が増えるということで多くの活動が可能になるんじゃないかというふうに考えたところでございます。

その前のページの 22 にあります、アンケートの結果の資料の中の部活動への思いの中で、小学生に、4・5・6 年生に聞いた中で、やはり入りたいよと答えさせていただいたのが 86%、中学生の 1 年生から 3 年生に聞いて、今の部活動に満足していますかということでは、74%の方が満足しているということで、やはり部活に対して高い関心とか思いがあるということがここで分かってきたというところになります。コメントでもいろんなコメントを聞かせていただいたものをここに書かせていただいております。

そして、23 ページの表の一番右側が、アンケートを取って、どの部活動をやりたいの？というものの数字になっております、あったら入りたい部活動というところで。小学生でいきますと、一番多いのがバスケットであったりバドミントン、そして美術とか家庭科が結構やっぱり考え方としては高いものになっております。現役の中学生に聞いたところでも、バドミントンとかやっぱりバスケット、あと美術、家庭、この辺のところは小学校と同様に高い結果を示されていたということが表れております。

その他の意見としてもいろんなものがここにございました。このようなことも、資料も添えながら、提言という形で、これからの新しい中学校に向けての決める流れの中で、これを参考にして、生徒たちに部活動に励んでいただけるような形の提言としてまとめさせていただいております。

説明は以上とさせていただきます。

事務局 はい、ありがとうございました。

部活動についてということで、部会のほうで、最終的に部会としてのまとめをしていただいたところでございます。この件についてご質問のほうあったら、よろしく願いいたします。

総務部会部会長

意外なのは、サッカー部がほとんどないんですよね、東も西もね。

事務局 そうですね、はい。

総務部会部会長

恵那高はやってるのか。

事務局 要するに、クラブチームに入ると部活動での登録ができませんので。

総務部会部会長

クラブチームでやるのか。

事務局 旧の恵那市のときは、何かというと、クラブ化するときにはクラブチームにほぼほとんどが移ってしまったので、西も東もそここのところがなくて、恵南地区は

岩村、山岡にあったんですけど、入る子供の数がすごく少なくなって、ちょっと設置ができなくなったというのが現状だと。

総務部会部会長

クラブチームもなくなっちゃったの。

事務局 はい。二重登録がどうしてもサッカーはできませんので。

総務部会部会長

じゃあサッカーやる子供はいるわけや、しっかりね。まあ学校でやらんでもね。

事務局 そうですね。クラブ活動結構ね、励んでいる方はいます。

環境整備・PTA・コミスク部会副部会長

その辺がね、難しいね。いや、だからこれ、環境部会の中でももめたんやけど、もめたというか、たまたま校長先生見えたんでできたんだけど、環境部会で検討できることなの？っていうんで提言にしちゃったんです、最後。もう要望みたいな形で上げんと、この部会ではしゃあないだろうという話になって、今、先生言われた、民間というか、学校から離れたクラブとか見ると、学校の部活との絡みが、今、非常にややこしくなってるじゃないですか。だから保護者のほうからもその声が上がってたし、で、ここでできるの？という話になって。で、もう提言ということにしちゃった。逃げるわけじゃないんだけど、本当先生たちも入ってもらわないと、多分最後までできんのやないかということになりました。

いっぱい出たよね、いろいろ、細かい話もね、授業の中に入れろとかね、親御さんからは。で、そういうのも、いや、それは困る、全部がこういうふうに決まってるから無理だよとか説明してもらいながら、だから、ここじゃないだろうという話になってっちゃったんだけど。

事務局 確かに議論の中でも、部活動に実際すごく携わってる親御さんはそういう思いで、それほどという人は、うんみたいに、いろいろね、やっぱり意識の差はある中で、あと学校でできること、できないこともお話しただいて、こういう形でちょっと取りまとめたというふうになっております。

事務局 そのほか、委員の皆様どうですか。よろしいですか。はい、ありがとうございました。

総務部会部会長

で、提言ということですね。提言になったということですね。

環境整備・PTA・コミスク部会副部会長

そうそう。じゃないとどうしても、学校の中で検討していってもらわんと、僕らと保護者だけではなかなか最後までできないんじゃないかなと。先生方、当然入ってもらって、教務のほうとの絡みは当然出てくるんで、今言ったように、保護者の中では、じゃあ1時間ぐらい、週に1時間ぐらいは授業の中で取り組んでもらったらどうだというような声まで出てきちゃうわけですよ。だから、やっぱりそれは先生方入ってるところでやっぱり協議してもらわないとできないんじゃないかということで提言という形になりました。

ただ、びっくりしたのは、サッカーやとか、今の子供たち、もっとアンケート

取ったときに違うのを望んでるんじゃないかな、特に上矢作は、上矢作で希望が出てくるかなと思ってものすごく期待しとったんやけど、意外とそういうのが出てこないんで、ちょっと結果はびっくりしたんですけど。

でも、一番は時間がさ、どうしてもかわいそうじゃん、冬季期間は特に。日照時間が短いときは部活の時間が短くなっちゃうんで。だから、そういうこともちらっと言ったんです、それ部活かよ、1日1時間、週1時間等々になったときに、それ本当に部活なの？と、僕ら年寄りには真っ暗になるまで本当にやってたのが部活だったんで、好きで好きでやってたというのがあったんで、どうしてもそういう声がこの中でも出ちゃって、いろいろ議論できたんやけど、でも、やったほうがいいだろうというところに落ち着いて、アンケート結果を基に提言しようというふうに一応になりました。

総務部会部会長

スクールバスとの関係だもんね。

環境整備・PTA・コミスク部会副部会長

難しい。いろんなのが絡んでくるんで。でも、あったほうがいいということになったよね、結局、それでも。

事務局 そうですね、はい。

環境整備・PTA・コミスク部会副部会長

それでもやったほうがいいというのにまとまったんで。

事務局 ありがとうございます。

じゃあ、この課題の13、部活動に関しても、このような内容で理事会のほうにかけていくという形でよろしかったでしょうか。はい、ありがとうございます。

それでは、本日の議題全て終了しました。今、審議していただいた3つの課題、それについて29日の理事会のほうに諮っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

事務局 本日は、お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございました。

今申しましたように、今度の理事会ではこの3つの部会、それから部会での案、幹事会での調整を経て理事会のほうに諮っていきたいということを考えております。そこで承認いただきましたら、また次の段階にという形になろうかと思えます。一応、今年度、特に学校の先生方は職場が替わる方もお見えになるので、今回の理事会が令和5年度としては最後になります、日にち的にも最後になりますけれども、また引き続き会長さん方は6年度もよろしくお願いしたいというところでございます。

じゃあ。

事務局 ちょっとすみません、ごめんなさい。

7ページの教育活動・学校事務部会、次の議題について協議したのと若干ちょっと違う部分があるので、またちょっと事務局のほうで直させてください。ちょっとすみません、お願いします。図書のことだとか、ちょっと話さなあかんことが抜けてますので、ごめんなさい、ちょっとそこだけ資料直ってくるんで、

報告になるかと思えます。お願いします。申し訳ありません。

事務局 それでは、連続になってしまいますが、来週の金曜日ですか、また、よろしく
お願いしたいと思います。

本日は、これで第2回恵那南地区統合中学校準備委員会の幹事会を終了します。
ありがとうございました。

事務局 はい、ありがとうございました。お疲れさまでした。